

## コンピュータ西暦 2000 年問題への対応状況について

平成 11 年 5 月 24 日

帝国石油株式会社

### 1. 対応状況等

#### a. 取組み方針

当社は、コンピュータ西暦 2000 年問題を石油・天然ガスなど、エネルギーの安定供給体制確保の面から経営上の重要課題のひとつと位置づけ、生産プラントにおける制御系システムや各種情報システムに至るまで全社的プロジェクトとして対応を進めております。

#### b. 取組み体制

本社に常務取締役を委員長とし、各部室長を委員とする「コンピュータ 2000 年問題対応委員会」を設置し、各部門の対応事項、進捗状況などの確認調整情報公開及び危機管理計画の策定などを進めております。

名称	コンピュータ 2000 年問題対応委員会
委員長	常務取締役 松野 尚武 (社長室 管掌)
副委員長	常務取締役 島田 俊夫 (削井部 管掌)
同	牧 武志 (生産部・パイプライン室 管掌)
同	高瀬 謙輔 (総務部・労務部 管掌)

#### c. 対応の進捗状況

当社のコンピュータシステムは、天然ガス石油製品等を安定的に供給するための制御系システムと、経理処理や資材調達などの事務処理系システムの 2 つに分けられます。

##### (1) 制御系システム

- ・ 南長岡ガス田 越路原プラント DCS(分散型制御システム)

同システムは平成 9 年に導入、一部のデータ処理系を除いて 2000 年対応済となっております。模擬テストについては、ガス需要の少ない夏季(7,8 月頃)に実施すべく準備を進めております。

- ・ 南長岡ガス田 新沢プラント DCS

同システムは平成 6 年に導入、平成 10 年の定期検査時にソフトウェアの 2000 年対応を実施し、問題のないことを確認しておりますが、越路原プラント同様、今年 8 月までに模擬テストを実施いたします。

- ・ 主要ガスライン監視制御システム(新潟県内及び長野東京方面)

平成 4 年に導入し、ソフトウェアが 2000 年問題に未対応であるため、6 月中旬

を目途にシステム修正を実施し、動作確認を行います。

- ・ マイクロチップ

各操業現場において、マイクロチップが埋め込まれている機器合計約 300 種の装置のリストアップを完了いたしました。現在これらの機器についての重要度分類及びメーカーへの問い合わせ確認作業を進めており、ほぼ完了しております。

(2) 事務処理系システム

当社の事務処理システムは経理、資材、労務、営業、生産統計の 5 システムとなっており、本年 4 月に上記システムのうち経理、資材、労務システムについて模擬テストを実施いたしました。この結果、一部のシステムで未対応箇所が見つかったため、現在調査分析中であり、その対応後、再テストを行うこととしております。残りのシステムにつきましては、本年 6 月中旬に模擬テストを実施する予定としております。

2. 社外取引先との対応

資材調達先、販売先各社などの 2000 年問題については、対応状況の情報収集活動を行い、先方の上京を確認しています。また取引銀行などともデータ転送等のテストを実施し、問題のないことを確認しております。

3. 危機管理計画の策定など

かねてより各部門毎に緊急停止時等に対応するためのみゅあるを準備しておりますが、不測の事態に備えるため、制御系模擬テストの結果を踏まえ、本年 9 月までに危機管理計画を策定することとしております。

4. その他

情報提供につきましては、随時ホームページにて更新することとしております。

以上

※なお、このページは当社が西暦 2000 年問題に対して最善の努力を行っていることを説明するものでありますが、西暦 2000 年対応に関して、当社が、何らの保証、義務の発生、権利の放棄を表明するものではありません。